

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

短 歌

寒さ耐へ如月の朝散歩発つ

息白うして手足凍えり

●宮古市 太田屋滋

倦怠感午後のひとときエルガーの

愛の挨拶エフエムラジオ

●仙台市 菱沼俊行

前向きな言葉並べて気合入れ

窓口業務苦情迎撃

●印西市 山田 明

香りたつサーブスエリアのメロンパン

妻の好みとそつと買いをり

●平塚市 田中博由

母の背で聴いた昭和の子守唄

今も聴こえるねんねんころり

●笛吹市 沢登清一郎

寒中に負けじと生きるつわぶきか

黄色き蕾み耐えて凌ぐや

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

俳 句

霜柱一步の躊躇も高揚感

●小山市 塚野 京

連山の冬桜満ち紅ほのか

●本庄市 入 利雄

町工場等間隔に冬つばき

●本庄市 長谷川千鶴子

松の内三度手作りなますかな

●草加市 長谷部禎子

初明り走り根の先自由なり

●戸田市 篠崎志津子

雪の朝残る熟柿に群れメジロ

●朝霞市 林 則雄

おお寒い今日の作業事故はゼロ

●東京都葛飾区 東海洋一

ガザガザと見守るだけの寒さかな

●武蔵村山市 原野晴光

カラオケや忘年会の喉自慢

●塩尻市 大家協治

幹の瘤眠る静けさ冬木立

●塩尻市 奥原光夫

野沢菜漬母が仕込んだ隠し味

●塩尻市 小野正平

氷中の枯れ葉一枚凜として

●塩尻市 清沢美恵子

藪椿咲き空の碧限りなく

●塩尻市 町田まさ子

毎年の元氣安心年賀状

●長岡京市 宮先一雄

北の空早や五日なり七尾城

●門真市 藤岡春男

孫の笑み抱き寄せながら春を待つ

●明石市 小田和子

若菜野をやや蛇行せし散歩道

●明石市 小田慶喜